

卒業までに必要な単位数（2021年度入学生適用）

1 文学部

1-1 英文学科（学位：学士（英文学））

部 門			卒業に必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「リサーチの基礎 A・B」	2 科目 4 単位	計 38 単位
		言語系科目群 「〇〇語 1A・1B・2A・2B」 (フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語から 1 言語を選択)	4 科目 4 単位 (注1)	
		言語系科目群 「〇〇語研究 1A・1B・2A・2B」から 2 科目 (「〇〇語 1A・1B・2A・2B」と同一言語を選択)	2 科目 4 単位 (注1)	
		情報処理系科目群 「コンピュータリテラシー 1・2」のいずれか 1 科目	1 科目 2 単位 (注2)	
	選択		24 単位	
学科科目	必修	※を付した科目 年次別科目一覧を参照すること。	21 科目 28 単位	計 92 単位
	コース 必修	所属コースの「〇〇概論A・B」	2 科目 4 単位 (注3)	
		所属コースの「Topics in 〇〇A・B」	2 科目 4 単位 (注4)	
	選択 必修	所属コースの「3 年次演習」・「4 年次演習」または「英語教育 3 年次演習」・「英語教育 4 年次演習」	2 科目 4 単位 (注5)	
	選択	所属コース科目(注6)	6 科目 12 単位	
		所属コース以外の科目、文学部共通科目 所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「英語科指導法 1・2・3・4」を 16 単位まで含めることができる。	40 単位	
合 計	130 単位			

(注1) 選択した言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口にご相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」1A・1B・2A・2Bではなく「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを履修し、2年次に「〇〇語研究」3A・3B・4A・4Bから2科目4単位を修得すること。

(注2) 「コンピュータリテラシー研究1A・1B・2A・2B」から1科目2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることもできる。上記必修2単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は明治学院共通科目の選択科目24単位に含まれる。

(注3) 所属コース以外の「〇〇概論A・B」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

(注4) 所属コースの「Topics in 〇〇A・B」を複数回修得した場合、もしくは所属コース以外の「Topics in 〇〇A・B」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

(注5) 所属コース選択時に「英語教員養成プログラム」の履修希望を出した学生については、所属コースの「3年次演習」「4年次演習」の代わりに「英語教育3年次演習」「英語教育4年次演習」を選択することができる。

(注6) 所属コース科目を12単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

1-2 フランス文学科 (学位: 学士(フランス文学))

部 門			単位群	卒業に必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「キリスト教の基礎 A・B」	①	2 科目 4 単位	計 36 単位
		言語系科目群 「フランス語 1A・1B・2A・2B」 「フランス語研究 1A・1B・2A・2B」	②	8 科目 12 単位	
		言語系科目群 「英語」コミュニケーション 1A・1B・2A・2B」	③	4 科目 4 単位	
		情報処理系科目群 「コンピュータリテラシー 1・2」のいずれか 1 科目	④	1 科目 2 単位 (注1)	
	選択		⑤	14 単位	
	明治学院共通科目・学科科目より選択		⑥	18 単位(注2)	
学科科目	必修	基礎研究 A・B(各 2 単位) フランス文学史 A・B(各 2 単位) Exercices Pratiques1A・1B・2A・2B(各 1 単位) フランス語表現法 1A・1B(各 1 単位) フランス学概説 A・B(各 2 単位) フランスの歴史 A・B(各 2 単位) フランス語講読 1A・1B(各 1 単位) フランス語講読 2A・2B(各 1 単位) 3 年次演習(2 単位) 4 年次演習(2 単位) 卒業論文(6 単位)	⑦	21 科目 36 単位	計 72 単位
		選択必修	△:4 科目 4 単位 ◇:8 科目 16 単位 年次別科目一覧を参照すること。	⑧	
	選択	(1)学科科目※〔8〕学科科目の項を参照。 (2)文学部共通科目	⑨	16 単位	
		(3)所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「フランス語科指導法 1・2・3・4」を 12 単位まで含めることができる。 13 単位目からは【⑥】に数えられる。 ※〔10〕文学部他学科の学科科目と 〔11〕教職に関する科目の項を参照。	⑩		
合 計					126 単位

(注1) 「コンピュータリテラシー研究 1A・1B・2A・2B」のうち1科目2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることもできる。

(注2) 明治学院共通科目・フランス文学科科目・文学部共通科目・文学部他学科の学科科目から自由に選択して履修できる。ただし、他学科科目については〔10〕の「文学部他学科の学科科目」の項で、「履修できない科目」に指定されているものを除く。

ディプロマ・ポリシーを観点とした卒業要件

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数(126 単位)」を取得する。
2. 幅広い教養およびフランス語圏にかんする基礎的知識と実践的に運用できるフランス語能力(読み、書き、聞き、話す)を身につけるために、「明治学院共通科目」「フランス学基礎科目」「フランス語科目」を履修して必要単位を取得する。
3. フランス語圏の言語・文化・文学・芸術・歴史・思想についての個別的で広汎な知識を身につけ、現代社会における多様な文化のあり方を追求する姿勢を身につけるために、「フランス学発展科目」を履修して必要単位を取得する。
4. 自分自身で問題を提起し、資料や情報を有効に探索・収集しながら、論理的かつ説得的に自らの見解を述べる力を身につけるために、「専門演習」「卒業論文」を履修して必要単位を取得する。

1-3 芸術学科（学位：学士（芸術学））

部 門			単位群	卒業に必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「リサ教の基礎 A・B」	①	2 科目 4 単位	計 26 単位
		言語系科目群 「英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B」	②	4 科目 4 単位 (注1)	
		言語系科目群 「〇〇語 1A・1B・2A・2B」 (フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、 ロシア語、韓国語から 1 言語選択)	③	4 科目 4 単位 (注1)	
		言語系科目群 「〇〇語研究 1A・1B・2A・2B」から 2 科目 (「〇〇語 1A・1B・2A・2B」と同一言語 を選択)	④	2 科目 4 単位 (注1)	
		情報処理系科目群 「コンピュータリテラシー 1・2」のいずれか 1 科目	⑤	1 科目 2 単位 (注2)	
	選択		⑥	8 単位(注3)	
	明治学院共通科目・学科科目より選択		⑦	24 単位(注4)	計 24 単位
学科科目 (注5)	必修 ・ 選択必修	音楽学コース	⑧	44 単位	計 74 単位
		映像芸術学コース		46 単位	
		美術史学コース		46 単位	
		芸術メディア論コース		44 単位	
		演劇身体表現コース		44 単位	
		総合芸術学コース		32 単位	
	選択 (注6)	音楽学コース	⑨	30 単位(注7)	
		映像芸術学コース		28 単位(注7)	
		美術史学コース		28 単位(注7)	
		芸術メディア論コース		30 単位(注7)	
		演劇身体表現コース		30 単位(注7)	
		総合芸術学コース		42 単位(注7)	
	合 計				

(注1) 必修の英語(4単位)および選択必修のフランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語(同一言語で8単位)以外の外国語を修得した場合は、⑥または⑦の単位に算入される。

なお、留学生については、日本語4単位(日本語1A・1B・2A・2B)とフランス語、ドイツ語、中国語から1言語で8単位を修得すること。「英語コミュニケーション」については、スペイン語、ロシア語、韓国語と同様に選択科目として履修可能とする。

選択必修科目として選んだ言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口にご相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」1A・1B・2A・2Bではなく「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを履修し、2年次に「〇〇語研究」3A・3B・4A・4Bから2科目4単位を修得すること。

(注2) 「コンピュータリテラシー研究1A・1B・2A・2B」のうち1科目2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることもできる。

(注3) ⑥の選択8単位は、明治学院共通科目から修得すること。9単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

- (注4) ⑦は、明治学院共通科目、芸術学科科目(文学部共通科目を含む)、文学部他学科の学科科目から24単位修得すること。ただし、『文学部他学科の学科科目』の項に記載の科目を除く。
- (注5) 必修科目、選択必修科目、選択科目については、『[7]学科科目』の項を参照すること。
- (注6) ⑨の学科科目(選択科目)中に、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて16単位まで含めることができる。ただし、『文学部他学科の学科科目』の項に記載の科目を除く。なお、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて17単位以上修得した場合、17単位めからは⑦の単位として扱われる。
- (注7) 《音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コース》
⑨の学科科目(選択科目)は、30単位修得すること。31単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。
《映像芸術学コース・美術史学コース》
⑨の学科科目(選択科目)は、28単位修得すること。29単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。
《総合芸術学コース》
⑨の学科科目(選択科目)は、42単位修得すること。43単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

ディプロマシー・ポリシーを観点とした卒業要件

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数(124 単位)」を修得する。
2. 人類の芸術・表現活動の歴史および、文化・社会との関わりに関する基礎的な教養を身につけるために、「明治学院共通科目」「必修科目(コース必修科目・各コース共通科目)」を履修して必要単位を修得する。
3. 芸術に関する総合的な知識を獲得した上で、自らが専攻する個別専門領域における体系的な知識、あるいは領域横断的な知識を身につけ、既存概念にとらわれない幅広い知的好奇心や柔軟な感性を養い、あらたな問題提起とその解決を提案する分析力および構想力、またそれを効果的に伝達する表現能力を身につけるために、「コース必修科目」「コース選択必修科目」「コース選択科目」を履修して必要単位を修得する。

2 経済学部

2-1 経済学科（学位：学士（経済学））

科目区分		ポリシー・アナリシスコース	企業・制度デザインコース	グローバル・スタディーズコース
専門科目	入門専門科目 基礎専門科目 情報数理・統計科目 専門外国語科目 実習科目 演習・卒業論文科目	84単位以上 このうち、 基礎専門科目①・②・③群 演習・卒業論文科目のうち 「演習A3・演習A4・卒業論文」の中から32単位以上 および 基礎専門科目④・⑤・⑥・⑦ の中から2単位以上 このうち、 ○ミクロ経済学入門(入門) ○マクロ経済学入門(入門) ○初級ミクロ経済学1・2(基礎①群) ○初級マクロ経済学1・2(基礎①群) の中から8単位 および ●入門計量経済学1・2(基礎①群) ●ミクロ経済政策(基礎②群) ●マクロ経済政策(基礎②群) ●ゲーム理論1・2(基礎④群) の中から8単位 計16単位以上	84単位以上 このうち、 基礎専門科目③・④・⑤群 演習・卒業論文科目のうち 「演習A3・演習A4・卒業論文」の中から32単位以上 および 基礎専門科目①・②・⑥・⑦ の中から2単位以上 このうち、 ☆ミクロ経済学入門(入門) ☆マクロ経済学入門(入門) ☆初級ミクロ経済学1・2(基礎①群) ☆初級マクロ経済学1・2(基礎①群) の中から8単位 および ★現代社会と経済B(入門) ★入門計量経済学1・2(基礎①群) ★経済学史1・2(基礎①群) ★ゲーム理論1・2(基礎④群) の中から8単位 計16単位以上	84単位以上 このうち、 基礎専門科目⑤・⑥・⑦群 演習・卒業論文科目のうち 「演習A3・演習A4・卒業論文」の中から32単位以上 および 基礎専門科目①・②・③・④ の中から2単位以上 このうち、 ◇ミクロ経済学入門(入門) ◇マクロ経済学入門(入門) ◇初級ミクロ経済学1・2(基礎①群) ◇初級マクロ経済学1・2(基礎①群) ◇経済学史1・2(基礎①群) の中から8単位 および ◆現代社会と経済A・B(入門) ◆入門経済史1・2(入門) ◆入門計量経済学1・2(基礎①群) ◆ゲーム理論1・2(基礎④群) ◆世界経済論1・2(基礎⑥群) の中から8単位 計16単位以上
	Ⅱ科目	4単位	4単位	4単位
	言語系科目	2言語で8単位 ※ 英語コミュニケーション1A・1B 英語コミュニケーション2A・2B の計4単位は必修	2言語で8単位 ※ 英語コミュニケーション1A・1B 英語コミュニケーション2A・2B の計4単位は必修	2言語で8単位 ※ 英語コミュニケーション1A・1B 英語コミュニケーション2A・2B の計4単位は必修
	選択科目	12単位	12単位	12単位
自由選択科目	専門科目 言語系科目 明治学院共通科目 (選択科目) 隣接領域科目(他学科科目) 教職関連科目	上記のほかに20単位	上記のほかに20単位	上記のほかに20単位
合 計		128単位	128単位	128単位

※相談の結果、許可された者は1A・1B・2A・2Bではなく、3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。

・「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」「経済情報処理1・2」は1年次の要求科目、「初級ミクロ経済学1・2」「初級マクロ経済学1・2」は2年次の要求科目であり、必ず履修しなければならない。ただし、その単位を修得できなくても、ポリシー・アナリシスコースの場合は○印の付された他の科目の、企業・制度デザインコースの場合は☆印の付された他の科目の、グローバル・スタディーズコースの場合は◇印の付された他の科目の単位を修得することで、卒業要件を満たすことができる。

・留学生の言語系科目の履修については、P48の明治学院共通科目[言語系科目]を参照。

⇒【専門科目】の科目に関する履修の方法は、P76を参照。

⇒【明治学院共通科目】の科目に関する履修の方法は、P35～57を参照。

⇒【隣接領域科目(他学科科目)】の科目に関する履修の方法は、P88～90を参照。

⇒【教職関連科目】の科目に関する履修の方法は、P90を参照。

1. ポリシー・アナリシスコースに所属する学生の卒業要件

1) 専門科目(経済学科の学科科目)、隣接領域科目(他学科科目)、明治学院共通科目、教職関連科目の中から合計128単位以上を修得しなければならない。

ただし、教職関連科目は12単位までしか卒業に必要な単位とはならない。

2) 明治学院共通科目の中から合計24単位以上を修得しなければならない。

第1に、コア科目4単位(キリスト教の基礎A・B)必修を修得し、

第2に、選択科目の中から12単位以上を修得し、

(ただし、明治学院共通科目の「統計学1・2・3・4」は履修できない。また、「6. 健康・スポーツ科学系科目群」は合わせて8単位しか卒業に必要な単位とはならない。)

第3に、言語系科目として、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位必修を修得し、さらに初習語の中から1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。(相談の結果、許可された者は1A・1B・2A・2Bではなく、3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。)

3) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の中から84単位以上を修得しなければならない。

第1に、入門専門科目及び基礎専門科目のうち、○印の科目の中から8単位及び、●印の科目の中から8単位の、合計16単位以上を修得しなければならない。このうち、ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、初級ミクロ経済学1・2、初級マクロ経済学1・2、経済情報処理1・2は要求科目であり、それぞれの履修年次で必ず履修することが求められる。

第2に、上記の16単位を含めて、基礎専門科目のうち、ポリシー・アナリシスコース科目群(=①経済理論・計量科目群、②公共政策科目群、③金融経済科目群)および演習A3・演習A4・卒業論文の中から32単位以上を修得しなければならない。また、ポリシー・アナリシスコースのコース科目群3つのほかに、さらに4～7群の科目群の中から2単位以上修得しなくてはならない。

第3に、残り50単位($84 - (32 + 2) = 50$)は、専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)のうちから、上記34単位の他に任意の科目を修得すればよい。

4) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の84単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の言語系科目の8単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の選択科目の12単位を超過して修得した単位分、および隣接領域科目(他学科科目)の修得単位分と付表3の教職関連科目の修得単位分は、自由選択科目の単位数として算入することができる。自由選択科目は、20単位以上を修得しなければならない。

2. 企業・制度デザインコースに所属する学生の卒業要件

1) 専門科目(経済学科の学科科目)、隣接領域科目(他学科科目)、明治学院共通科目、教職関連科目の中から合計128単位以上を修得しなければならない。

ただし、教職関連科目は12単位までしか卒業に必要な単位とはならない。

2) 明治学院共通科目の中から合計24単位以上を修得しなければならない。

第1に、コア科目4単位(キリスト教の基礎A・B)必修を修得し、

第2に、選択科目の中から12単位以上を修得し、

(ただし、明治学院共通科目の「統計学1・2・3・4」は履修できない。また、「6. 健康・スポーツ科学系科目群」は合わせて8単位しか卒業に必要な単位とはならない。)

第3に、言語系科目として、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位必修を修得し、さらに初習語の中から1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。(相談の結果、許可された者は1A・1B・2A・2Bではなく、3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。)

3) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の中から84単位以上を修得しなければならない。

第1に、入門専門科目及び基礎専門科目のうち、☆印の科目の中から8単位及び、★印の科目の中から8単位の、合計16単位以上を修得しなければならない。このうち、ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、初級ミクロ経済学1・2、初級マクロ経済学1・2、経済情報処理1・2は要求科目であり、それぞれの履修年次で必ず履修することが求められる。

第2に、上記の16単位を含めて、基礎専門科目のうち、企業・制度デザインコース科目群(=③金融経済科目群、④市場・組織・制度の経済分析科目群、⑤現代の経済環境科目群)および演習A3・演習A4・卒業論文の中から32単位以上を修得しなければならない。また、企業・制度デザインコースのコース科目群3つのほかに、さらに1～2群及び6～7群の科目群の中から2単位以上修得しなくてはならない。

第3に、残り50単位($84 - (32 + 2) = 50$)は、専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)のうちから、上記34単位の他に任意の科目を修得すればよい。

4) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の84単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の言語系科目の8単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の選択科目の12単位を超過して修得した単位分、および隣接領域科目(他学科科目)の修得単位分と付表3の教職関連科目の修得単位分は、自由選択科目の単位数として算入することができる。自由選択科目は、20単位以上を修得しなければならない。

3. グローバル・スタディーズコースに所属する学生の卒業要件

1) 専門科目(経済学科の学科科目)、隣接領域科目(他学科科目)、明治学院共通科目、教職関連科目の中から合計128単位以上を修得しなければならない。

ただし、教職関連科目は12単位までしか卒業に必要な単位とはならない。

2) 明治学院共通科目の中から合計24単位以上を修得しなければならない。

第1に、コア科目4単位(キリスト教の基礎A・B)必修を修得し、

第2に、選択科目の中から12単位以上を修得し、

(ただし、明治学院共通科目の「統計学1・2・3・4」は履修できない。また、「6. 健康・スポーツ科学系科目群」は合わせて8単位しか卒業に必要な単位とはならない。)

第3に、言語系科目として、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位必修を修得し、さらに初習語の中から1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。(相談の結果、許可された者は1A・1B、2A・2Bではなく、3A・3B、4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。)

3) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の中から84単位以上を修得しなければならない。

第1に、入門専門科目及び基礎専門科目のうち、◇印の科目の中から8単位及び、◆印の科目の中から8単位の、合計16単位以上を修得しなければならない。このうち、ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、初級ミクロ経済学1・2、初級マクロ経済学1・2、経済情報処理1・2は要求科目であり、それぞれの履修年次で必ず履修することが求められる。

第2に、上記の16単位を含めて、基礎専門科目のうち、グローバル・スタディーズコース科目群(=⑤現代の経済環境科目群、⑥国際経済の理論と実際科目群、⑦経済社会と経済思想の歴史科目群)および演習A3・演習A4・卒業論文の中から32単位以上を修得しなければならない。また、グローバル・スタディーズコースのコース科目群3つのほかに、さらに1～4群の科目群の中から2単位以上修得しなくてはならない。

第3に、残り50単位($84 - (32 + 2) = 50$)は、専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)のうちから、上記34単位の他に任意の科目を修得すればよい。

4) 専門科目(入門専門科目、基礎専門科目、情報数理・統計科目、専門外国語科目、実習科目、演習・卒業論文科目)の84単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の言語系科目の8単位を超過して修得した単位分、明治学院共通科目の選択科目の14単位を超過して修得した単位分、および隣接領域科目(他学科科目)の修得単位分と付表3の教職関連科目の修得単位分は、自由選択科目の単位数として算入することができる。自由選択科目は、20単位以上を修得しなければならない。

2-2 経営学科（学位：学士（経営学））

内 訳		科目・必要単位数		合 計
明治学院共通科目	必修コア科目	キリスト教の基礎A	2単位	24単位
		キリスト教の基礎B	2単位	
	必修言語系科目	英語コミュニケーション 1A・1B、2A・2B	4単位	
		初習語1A・1B、2A・2B※	4単位	
	選択科目	選択科目より選択	12単位	
学科科目 (専門科目)	導入科目群		4単位	62単位
	基幹科目群		24単位	
	演習科目群		8単位	
	応用科目群		26単位	
自由選択科目	明治学院共通科目および学科科目の中から選択可能			38単位
合 計		124単位		

表の解説

- 明治学院共通科目(コア科目・キリスト教の基礎A・B・各2単位合計4単位)は必修である。
- 明治学院共通科目(言語系科目・2言語で8単位)は必修である。
「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位を修得しなければならない。さらに初習語の中から1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。(※相談の結果、許可された者は1A・1B、2A・2Bではなく、3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。)なお、8単位を超過して修得した場合、9単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。その場合、9単位目から外国語は[2言語で8単位を修得した時の言語]でなくともよい。
- 明治学院共通科目(明治学院共通科目の選択科目)の中から、12単位以上を修得しなければならない。12単位を超過して修得した場合、13単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。ただし、「健康・スポーツ科学系科目群」は合わせて8単位までしか卒業に必要な単位にはならない。
- 学科科目(導入科目群)の3科目6単位を履修しなければならない。また、その中から2科目(4単位)は単位を修得しなければならない。4単位を超過して修得した場合、5単位目からの単位は応用科目群の単位数に算入される。
- 学科科目(基幹科目群)の中から、24単位を修得しなければならない。24単位を超過して修得した場合、25単位目からの単位は応用科目群の単位数に算入される。
- 学科科目(演習科目群)の中から、8単位を修得しなければならない。8単位を超過して修得した場合、9単位目からの単位は応用科目群の単位数に算入される。
演習と卒業論文の単位の認定方法については、「演習と卒業論文」の項を参照すること。
- 学科科目(応用科目群)の中から、26単位を修得しなければならない。上記4、5および6の超過単位数を含めて26単位を超過した場合、27単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。
- 明治学院共通科目24単位、学科科目62単位を超過して修得した単位、および隣接領域科目(他学科科目)は、合計38単位まで自由選択科目として、卒業に必要な単位数に算入される。
- 卒業には少なくとも合計して124単位を修得しなければならない。

表-1 卒業に必要な単位数と科目の内訳

内訳	科目		単位数	合計
明治学院 共通科目	コア科目 キリスト教の基礎(必修)	キリスト教の基礎A(2単位) キリスト教の基礎B(2単位)	4	24
	言語系科目 外国語科目(必修)	英語コミュニケーション1A・1B、 2A・2B(4単位) 初習語1A・1B、2A・2B(4単位)※	8	
	選択科目	選択科目より選択	12	
学科科目	基礎科目		16	78
	専門外国語Ⅰ(必修)		16	
	専門外国語Ⅱ		6	
	Study Abroad Program(必修)		12	
	専門科目Ⅰ	M&S	6	
		A&F	6	
		T&I	6	
	専門科目Ⅱ	M&S A&F T&I } 3分野のうち1つを選択、4単位以上を 修得	4	
BCR		6		
自由選択科目	明治学院共通科目、学科科目、隣接領域科目(他学科科目)から選択		22	22
合計				124

表の解説

- 明治学院共通科目(コア科目・キリスト教の基礎A・B・各2単位合計4単位)は必修である。
- 明治学院共通科目(言語系科目・2言語で8単位)は必修である。
「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位を修得しなければならない。さらに初習語の中から1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。なお、8単位を超過して修得した場合、9単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。(※相談の結果、許可された者は1A・1B・2A・2Bではなく、3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。)
- 明治学院大学共通科目(選択科目)の中から12単位以上を修得しなければならない。12単位を超過して修得した場合、13単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。ただし、「健康・スポーツ科学系科目群」は合わせて8単位までしか卒業に必要な単位にはならない。
- 学科科目のうち基礎科目の中から16単位を修得しなければならない。16単位を超過して修得した場合、17単位目からの単位は自由選択科目の単位数に算入される。なお、原則として1年次には当該年度に開講されている基礎科目(ただし、データ分析入門、海外マーケット調査の2科目を除く)をすべて履修しなければならない。ただし、基礎演習は再履修できない。
- 学科科目のうち、専門外国語Ⅰは必修科目である。1年次には English for Business Communication A1・A2、2年次には English for Business Communication B1・B2、3年次には English for Business Communication C1・C2・C3・C4 を履修し、合計して16単位を修得しなければならない。
- 学科科目のうち、専門外国語Ⅱからは卒業までに6単位を修得しなければならない。7単位目からの単位は

自由選択科目に算入される。

7. 学科科目の Study Abroad Program のうち、Preparation for Study Abroad 1～3、Study Abroad 1・2 は必修科目である。1 年次には Preparation for Study Abroad 1・2、2 年次春学期には Preparation for Study Abroad 3、2 年次秋学期には Study Abroad 1・2 を履修し、合計 12 単位を修得しなければならない。12 単位を超過して修得した場合、13 単位目からの単位は自由選択科目に算入される。
8. 学科科目のうち、専門科目Ⅰ及び専門科目Ⅱは、Management & Strategy(M&S)、Accounting & Finance(A&F)、Trade & Industry(T&I)の3つの分野から構成されており、それらは基本的な理論を習得する専門科目Ⅰと、応用・発展科目となる専門科目Ⅱに分類される。
9. 専門科目Ⅰからは、3つの分野からそれぞれ6単位を修得しなければならない。6単位を超過して修得した場合、7単位目からの単位は自由選択科目に算入される。
10. 専門科目Ⅱについては、3つの分野のうち1つを選択し、その中から4単位以上を修得しなければならない。4単位を超過して修得した場合、5単位目からの単位は自由選択科目に算入される。また、選択しない2分野の修得単位は、すべて自由選択科目に算入される。
11. BCR(Business Communication & Research)は、6単位以上を修得しなければならない。また、6単位を超過して修得した場合、7単位目からの単位は自由選択科目に算入される。
12. 学科科目の超過修得単位、明治学院共通科目(コア科目の必修キリスト教の基礎、選択科目 12 単位と外国語科目の2言語で8単位を合わせて計 24 単位)を超過して修得した単位分、隣接領域科目(他学科科目)は、合計 22 単位まで自由選択科目として卒業に必要な単位数に算入される。

3 社会学部

3-1 社会学科（学位：学士（社会学））

明共・学科 科目分類	必修・選択 科目分類			卒業に必要な 単位数内訳	履修確認「単位集計結 果」の項目 成績照会「単位修得情 報照会」の項目	
明治学院 共通科目	必修科目	キリスト教の基礎	①	4単位(注1)	キリスト基本	計46単位
		英語コミュニケーション	②	4単位(注2)	外国語	
		初習語	③	4単位(注3)	外国語	
		コンピュータリテラシー	④	2単位(注4)	情報処理	
	選択必修科目		⑤	12単位(注5)	明共選必	
	自由選択科目		⑥	20単位(注6)	明共選択	
明治学院共通科目 および 学科科目			⑦	10単位(注6・7)		計10単位
学科科目	必修科目	アカデミックリテラシー	⑧	2単位(注8)	学科必修	計70単位
	コース必修科目	コース演習 A	⑨	2単位(注9)	コース必修	
		コース演習 B				
		コース演習 C				
	選択必修科目	表現法演習	⑩	2単位(注10)	学科選必	
		質的データ分析				
	要求科目	社会学基礎演習 社会調査の基礎	⑪	(各2単位)(注11)	学科自由に算入	
自コース科目		⑫	32単位(注12)	自コース科目		
自由選択科目		⑬	32単位(注13)	学科自由		
合 計						126単位

(注1)①は、「キリスト教の基礎A・B」の2科目が必修である。

(注2)②は、「英語コミュニケーション1A・1B、2A・2B」の4科目が必修である。

(注3)③は、英語以外の言語系必修科目で、選択した1言語について4単位を修得しなければならない。③の超過修得点は⑥に算入される。

(注4)④は、「コンピュータリテラシー1・2、コンピュータリテラシー研究1A・1B、2A・2B」の中から1科目必修である。2単位を超えて修得した場合、④の超過修得点は⑥に算入される。

(注5)⑤は、以下に指定した科目の中から12単位分を修得すること。⑤の超過修得点は、⑥に算入される。

社会学理論の基礎、社会科学概論、人文地理学入門、人文地理学、心理学入門、心理学各論、統計学のいずれか(番号を問わない)。

(注6)⑥は、⑤で修得した選択必修科目の12単位を除いて、明治学院共通科目(自由選択科目)から20単位修得すること。⑥の超過修得点は⑦に算入される。

(注7)⑦の10単位は、明治学院共通科目と学科科目から自由に選択し、修得すること。

(注8)⑧は、「アカデミックリテラシー」が必修である。「アカデミックリテラシー」は1年次春学期に指定されたクラスで履修しなければならない(再履修についてもクラスを指定する)。

(注9)⑨は、「コース演習」A・B・Cがコース必修科目である。「コース演習」A・B・Cは、1年次に所属を選択した自コースの中からクラスを指定される(再履修についてもクラスを指定する)。コースを変更した場合、新たに所属するコースの「コース演習」を履修し、単位を修得しなければならない。その際に、以前に修

得した「コース演習」の単位は⑬「自由選択科目」とすることができる。

(注 10)⑩ は、選択必修である。「表現法演習」と「質的データ分析」のうち、少なくとも1科目の単位を修得しなければならない。希望者が多数のクラスは抽選の可能性があるので注意すること。⑩の超過修得点は⑬に算入される。

(注 11)⑪ は、要求科目である。必修科目ではないが1年次秋学期に指定されたクラスで必ず履修しなければならない。⑪の修得点は⑬に算入される。

(注 12)⑫ は、自分の所属するコースのコース科目から32単位以上修得すること。ただし、「社会学のための日本語1～4」「演習1」「社会教育実習演習1」「社会調査実習」「社会教育調査実習」「演習2」「社会教育演習2」「卒業論文」「専門書講読」「専門書講読(外)」の単位を含めることができる。⑫ の超過修得点は⑬に算入される。

(注 13)⑬ は、学科科目(「社会学科 学科科目一覧」に記載されている科目)の自由選択として、〔1〕～〔6〕部門の科目から〔2〕コース科目32単位の他に、32単位分を修得すること。⑬ の超過修得点は⑦に算入される。

3-2 社会福祉学科（学位：学士（社会福祉学））

明共・学科 科目分類	必修・選択 科目分類			卒業に必要な 単位数内訳	履修確認「単位集計 結果」の項目 成績照会「単位取得 情報照会」の項目	
明治学院 共通科目	必修科目	キリスト教の基礎	①	4単位(注1)	キリスト基本	計32単位
		英語コミュニケーション	②	4単位(注2)	外国語	
		初習外国語	③	4単位(注3)	外国語	
		コンピュータリテラシー	④	2単位(注4)	情報処理	
	選択必修科目		⑤	12単位(注5)	明共選必	
	自由選択科目		⑥	6単位(注6)	明共選択	
明治学院共通科目 および 学科科目			⑦	22単位 (注6・7・12)		計22単位
学科科目	必修科目	社会福祉学概論A・B	⑧	4単位(注8)	学科必修	計70単位
	コース必修科目	ソーシャルワーク1A	⑨	2単位(注9)	コース必修	
		福祉開発概論				
	第4群科目		⑩	8単位(注10)	第4群	
	第5群科目		⑪	10単位(注11)	第5群	
	要求科目 (注12)	アカデミックリテラシー 基礎演習	⑫	(各2単位)	第1-7群に算入	
	第1～7群科目		⑬	22単位(注13)	第1-7群	
	自由選択科目		⑭	24単位(注14)	第8群	
				合 計		124単位

(注1) ①は、「キリスト教の基礎A・B」の2科目が必修である。

(注2) ②は、「英語コミュニケーション1A・1B、2A・2B」それぞれ各1単位ずつが必修である。

(注3) ③は、英語以外の言語系必修科目で、選択した1言語について4単位を修得しなければならない。③の超過修得点は⑥に算入される。

(注4) ④は、「コンピュータリテラシー1・2、コンピュータリテラシー研究1A・1B・2A・2B」の中から1科目必修である。④の超過修得点は⑥に算入される。

(注5) ⑤は、心理学入門、心理学各論、法学(日本国憲法を含む)、経済学、社会学理論の基礎、文化とメディアの社会学入門、生命とアイデンティティの社会学入門、環境とコミュニティの社会学入門、数学入門、数学、数学特論、生物学入門、現代の生物学、統計学、健康・スポーツ科学系科目群のうち番号を問わず指定科目の対象とする。この中から12単位が必修である。⑤の超過修得点は⑥に算入される。

(注6) ⑥は、⑤で修得した選択必修科目の12単位を除いて、明治学院共通科目(自由選択科目)から6単位修得すること。

⑥の超過修得点は⑦に算入される。

(注7) ⑦の22単位は明治学院共通科目と、学科科目(選択科目)から自由に選択し、修得すること。⑥と⑭の超過修得点は⑦に算入される。

(注8) ⑧は、「社会福祉学概論A・B」が必修である。

(注9) ⑨は、ソーシャルワークコースを選択した学生は「ソーシャルワーク1A」が、福祉開発コースを選択した学生は「福祉開発概論」がコース必修となる。他のコースの学生にも履修を勧める。コース必修科目の単位を修得しないと、当該コースの学生は卒業不可となる。

- (注 10) ⑩は、8 単位以上を修得すること。⑩の超過修得点は⑬に算入される。ソーシャルワークコースを選択した学生は「ソーシャルワーク1A」の他に8単位以上の修得が必要である。
- (注 11) ⑪は、10単位以上を修得すること。⑪の超過修得点は⑬に算入される。
- (注 12) ⑫は要求科目である。必修科目ではないが1年次に指定されたクラスで必ず履修しなければならない。修得した単位は⑬に算入され、⑬を超過した単位は⑭に算入される。
- (注 13) ⑬の22単位以上は、第1～7群の科目から修得すること。⑬の超過修得点は⑭に算入される。
※必修(⑧:4単位)、コース選択必修(⑨:2単位)、4群(⑩:8単位)、5群(⑪:10単位)の計24単位とは別に修得すること。
- (注 14) ⑭は、学科科目(一覧表に記載されている科目)の自由選択として、第8群を中心に、第1群～第8群の中から、未修得の科目を24単位修得すること。⑭の超過修得点は⑦に算入される。

4 法学部

4-1 法律学科（学位：学士（法学））

部 門				単位 グループ	卒業までに 必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 科目	キリスト教科目 「キリスト教の基礎A・B」		①	2科目 4単位	計 24 単位
		外国語 科目 (※)	「英語コミュニケーション 1A・1B」 「英語コミュニケーション 2A・2B」 (※1)	②	4科目 4単位	
	初習語(※2、※4)		4科目 4単位			
	外国語研究科目(※3、※4)		③	2科目 4単位		
	情報処理系科目 「コンピュータリテラシー1・2」 のいずれか1科目(※5)		④	1科目 2単位		
	自由選択(※)		⑤	6単位		
学科科目	必修 科目	「憲法 1-1、1-2」 (各2単位)		⑥	12科目 24単位	計 90 単位
		「民法総則1・2」 (各2単位)				
		「物権法1・2」 (各2単位)				
		「債権総論1・2」 (各2単位)				
		「契約法1」 (2単位)				
		「不法行為法」 (2単位)				
		「刑法総論1・2」 (各2単位)				
	選択 必修 科目	第1群		⑦	12単位	
		第2群			6単位	
第3群		10単位				
第4群		8単位				
第5群		12単位				
第6群		4単位				
自由選択 (入門科目、第 1 群～第 8 群、関連部門含む)(※)		⑧	14単位			
フリーゾーン(明治学院共通科目・学科科目から自由選択)				⑨	16単位	計 16 単位
合 計					130 単位	

(注1) 法律学科の授業科目(後掲「授業科目一覧」参照)以外の授業科目とその単位は、履修し単位を修得しても、上記の法律学科の卒業要件に必要な単位として認定されない。

(注2) 卒業要件と法曹コース修了のための要件は異なるので注意すること。法曹コースの修了には、すべての法曹コース指定科目(法曹コース必修科目)70単位を修得し、かつそのGPAが2.5以上であることを必要とする。

(※) 各単位グループで超過して修得した単位の取り扱いについては、後掲【超過して修得した単位の扱

い】を参照のこと。

- (*1) 外国人留学生は、必修科目として、「日本語 1A・B、2A・B」4 科目 4 単位を修得する必要がある。
- (*2) 外国語の選択必修科目として、1 年次配当の初習語
[フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語]
の中から 1 言語を選択し、「〇〇語 1A・B、2A・B」の 4 科目 4 単位または、「〇〇語 3A・B、4A・B」
の 4 科目 4 単位を修得する必要がある。ただし、「〇〇語 3A・B、4A・B」の履修は既修者に限る。
- (*3) ①2 年次配当「英語研究 1A・B、2A・B」から 2 科目 4 単位
②初習語と同一の 2 年次配当「〇〇語研究 1A・B、2A・B」から 2 科目 4 単位
のいずれかを選択し、修得する必要がある。ただし、②を選択した場合で、「〇〇語 3A・B、4A・B」を
履修した者は、「〇〇語研究 3A・B、4A・B」から 2 科目 4 単位を修得する必要がある。
- (*4) 外国人留学生は、外国語の選択必修科目として、
①1 年次配当、日本語以外の初習語 1 言語から 4 科目 4 単位
②「日本語研究 1A・B、2A・B、3A・B」から 2 科目 4 単位
のいずれかを選択し、修得する必要がある。
- (*5) 入学時に中級以上の技能を有する学生については、情報処理系科目群の「コンピューターリテラシー研究 1A・B、
2A・B」から 1 科目 2 単位を修得することにより、必修の 2 単位に振り替えることができる。

4-2 消費情報環境法学科（学位：学士（法学））

部 門				単位 グループ	卒業までに 必要な単位数		
明治学院 共通科目	必修 科目	キリスト教科目 「キリスト教の基礎A・B」		①	2 科目 4 単位	計 24 単位	
		外国語 科目 (※)	「英語コミュニケーション1A・B」 「英語コミュニケーション2A・B」 (*)	②	4 科目 4 単位		
	選択 必修 科目		初習語(*2、*3)		4 科目 4 単位		
	自由選択				③	12 単位	
学科科目	必修 科目	「契約法の基礎」 (2 単位)		④	10 科目 20 単位		
		「消費者問題と法」 (2 単位)					
		「民法総則1・2」 (各 2 単位)					
		「物権法1・2」 (各 2 単位)					
		「債権総論1・2」 (各 2 単位)					
		「法情報処理演習1・2」 (各 2 単位)					
	選択 必修 科目	1:法律基礎科目群		⑤	12 単位	計 82 単位	
		2:情報技術科目群(*4)			6 単位		
		3:消費者法科目群		⑥	6 単位		計 30 単位 (*)
		4:企業活動法科目群			6 単位		
5:環境法科目群		6 単位					
3～5:上記とは別に選択		12 単位					
自由選択 (選択必修科目、特殊演習等、演習・購読等、関連部門含む)		⑦	14 単位				
フリーゾーン(明治学院共通科目・学科科目から選択)				⑧	24 単位		計 24 単位
合 計						130 単位	

(※)消費情報環境法学科の授業科目(後掲「授業科目一覧」参照)以外の授業科目とその単位は、履修し単位を修得しても、上記の消費情報環境法学科の卒業要件に必要な単位として認定されない。

各単位グループで超過して修得した単位の取扱いについては、後掲【超過して修得した単位の扱い】を参照のこと。

(*1) 外国人留学生は、外国語の必修科目として、「日本語 1A・B、2A・B」4 科目 4 単位を修得する必要がある。

(*2) 外国語の選択必修科目として、1 年次配当の初習語
[フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語]
の中から 1 言語を選択し、「〇〇語 1A・B、2A・B」の 4 科目 4 単位または、「〇〇語 3A・B、4A・B」の 4 科目 4 単位を修得する必要がある。ただし、「〇〇語 3A・B、4A・B」の履修は既修者に限る。

(*3) 外国人留学生は、外国語の選択必修科目として、

- { ①1 年次配当、日本語以外の初習語 1 言語から 4 科目 4 単位
②「日本語研究 1A・B、2A・B、3A・B」から 2 科目 4 単位
のいずれかを選択し、修得する必要がある。

- (*4) 情報技術科目群は、6 単位中少なくとも 4 単位は「情報処理 1」「情報処理 2」「情報処理 3」「情報処理 4」から選択すること。
- (*5) 消費者法科目群、企業活動法科目群、環境法科目群の 3 群より、各 6 単位とは別に、12 単位(計 30 単位)を修得する必要がある。

4-3 グローバル法学科（学位：学士（法学））

部 門			卒業までに 必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 科目	キリスト教基本科目 「キリスト教の基礎A・B」(各 2 単位)	2 科目 4 単位	計 24 単位
		外国語基本科目 「英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B」(各 1 単位)(注 1)	4 科目 4 単位	
	選択 必修 科目	情報処理基本科目 「コンピュータリテラシー1・2」のいずれか1科目(各 2 単位)(注 2)	1 科目 2 単位	
	自由選択(注 3)		14 単位	
学科科目	必修 科目	「グローバル法入門1・2」 (各 2 単位) 「グローバル基礎演習1・2」 (各 2 単位) 「民事法の基礎1・2」 (各 2 単位) 「Introduction to Japanese Law」 (2 単位) 「留学準備講座1・2・3」 (各 1 単位) 「English for Global Communication 1A・1B・2A・2B」 (各 1 単位) 「English for Legal Studies 1A・1B・2A・2B・3A・3B」 (各 2 単位)	20 科目 33 単位	計 95 単位
		選択 必修 科目	(A)留学科目 「海外英語学習1・2・3・4」 「海外法学学習1・2・3」 (各 2 単位)	
	(B)国際関係法分野		6 単位	
	(C)グローバル取引法分野		8 単位	
	(D)英語による比較法政・異文化理解分野		10 単位	
	(E)国際政治経済分野		6 単位	
	(F)法学基礎分野		6 単位	
	(G)国内法分野		4 単位	
	自由選択 (任意選択科目、関連科目、(A)～(G)の選択必修科目のうち、 科目群の必要単位数を超えて修得した科目)		14 単位	
フリーゾーン(明治学院共通科目・学科科目から選択)			11 単位	計 11 単位
合 計			130 単位	

(注1) 留学生については、必修科目の「英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B」に加えて、「日本語 1A・1B・2A・2B」を要求科目とする。

(注2) 入学時に中級以上の技能を有する学生については、E群科目「コンピューターリテラシー研究 1A・1B・2A・2B」から 2 単位を修得することにより、必修の 2 単位に振り替えることができる。

(注3) D群「4 健康・スポーツ科学系科目」とE群「8 健康・スポーツ科学関連科目」で卒業要件として認められる単位数は、合わせて 8 単位以下に限る。

4-4 政治学科（学位：学士（政治学））

部 門			単位 グループ	卒業までに 必要な単位数	
明治学院 共通科目	必修 科目	キリスト教科目「キリスト教の基礎A・B」	①	2科目 4単位	計24単位
		外国語 科目 (※)	②	4科目 4単位	
	選択 必修 科目	「英語コミュニケーション1A・B」 「英語コミュニケーション2A・B」 (※1) 初習語(*2、*3)		4科目 4単位	
	自由選択(※)	情報処理系科目 「コンピューターリテラシー1・2」のいずれか 1科目	③	1科目 2単位	
			④	10単位	
学科科目	必修 科目	「政治学基礎演習」 (2単位) 「政治学原論A・B」 (各2単位)	⑤	3科目 6単位	計94単位
	選択 必修 科目	基礎科目A群	⑥	40単位	
	自由選択	展開科目B群	⑦	28単位	
		選択科目C群	⑧	8単位	
			⑨	12単位	
フリーゾーン(明治学院共通科目・学科科目から選択)			⑩	12単位	計12単位
合 計				130単位	

注意事項：政治学科の授業科目（後掲「授業科目一覧」参照）以外の授業科目とその単位は、履修し単位を修得しても、上記の政治学科の卒業要件に必要な単位として認定されない。

各単位グループで超過して修得した単位の取り扱いについては、後掲【超過して修得した単位の扱い】を参照のこと。

- (※1) 外国人留学生は、外国語の必修科目として、「日本語1A・B、2A・B」4科目4単位を修得する必要がある。
- (※2) 外国語の選択必修科目として、1年次配当の初習語
[フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語]
の中から1言語を選択し、「〇〇語1A・B、2A・B」の4科目4単位または、「〇〇語3A・B、4A・B」の4科目4単位を修得する必要がある。ただし、「〇〇語3A・B、4A・B」の履修は既修者に限る。
- (※3) 外国人留学生は、外国語の選択必修科目として、
①1年次配当、日本語以外の初習語1言語から4科目4単位
②「日本語研究1A・B、2A・B、3A・B」から2科目4単位
のいずれかを選択し、修得する必要がある。
- (※4) 入学時に中級以上の技能を有する学生については、情報処理科目群「コンピューターリテラシー研究1A・B、2A・B」から2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる。

5 国際学部

5-1 国際学科（学位：学士（国際学））

〔表-1〕卒業に必要な単位数

部 門	最低限修得するべき単位数	内 訳	
		科 目 区 分	単位数
明治学院共通科目	26単位	キリスト教科目	4単位
		外国語科目(注)	8単位
		情報処理科目	2単位
		選択科目	12単位
明治学院共通科目 または 学 科 科 目	22単位	フリーゾーン { 明治学院共通科目の選択科目 または 学科科目の選択科目	22単位
学 科 科 目	86単位	必 修 科 目	30単位
		選 択 科 目	56単位
合 計	134単位	卒業するためには、単位数だけではなく科目の内訳も満たさなければならない。内訳の詳細は〔表-2〕を参照のこと。	

(注)外国人留学生ならびに学科が特に認めた学生は、外国語科目の履修に際して前述の「明治学院共通科目履修の方法」の〔外国語科目〕3.にある指示に従うこと。

〔表-2〕卒業までに必要な単位数 — 科目の内訳の詳細 —

部門	科目区分		単位		備考
明治学院共通科目	必修	キリスト教科目	4	A	キリスト教の基礎A・B
		外国語科目	8	B (注1) (注2)	仏・中・独・西・露・韓の各言語から選択し、同一言語について8単位修得すること。2言語以上単位修得した場合、2言語目以降の修得単位はフリーゾーン含め卒業要件単位に加算されない。
		情報処理科目 「コンピュータリテラシー1・2」のいずれか1科目	2	C (注3)	Cの超過分はDに加算される。
	選択	選択科目	12	D	Dの超過分はEに加算される。
フリーゾーン	明治学院共通科目	選択科目	22	E	Eは8単位までの修得とする。超過分は卒業要件単位としては加算されない。
	学科科目	必修、情報3科目、専門演習、卒業論文等、校外実習等、基礎、基幹、発展、地域研究科目、教育実習		F	
	学科自由選択科目	Field Study Seminar、独自課題研究、教職・その他資格関連科目、横浜市内大学単位互換、共愛学園前橋国際大学単位互換		G (注4)	Gは10単位までの修得とする。超過分は卒業要件単位としては加算されない。

学科 科目 (必修)	必修	専門外国語(1)	12	H	専門外国語1A・1B・2・3
		専門外国語(2)	8		専門外国語4・5
		専門外国語(3)	4		専門外国語6A・6B
		基礎演習A	2	I	
		演習2A・2B	4	J	
学科 科目 (選択)	情報3科目	リサーチ・リテラシー、メディア・リテラシー、ネットワーク・リテラシー	2	K	左記3科目のうち、1科目選択必修。Kの超過分はFに加算される。
	専門演習(1)	演習1または特別演習1	2	L (注5)	演習1または特別演習1が選択必修。
	専門演習(2)	演習3A・3Bまたは特別演習	4	M	演習3A・3Bまたは特別演習2つ(春・秋1つずつ)が選択必修。
	卒業論文等	卒業論文または特別演習課題	2	N	「卒業論文」(2単位)または「特別演習課題」(1単位)2つが選択必修。
	校外実習等	校外実習A、B、Field Study A、B、インターンシップ ^o (講義)、インターンシップ ^o (実習) A、B、C、独自課題実地研究A、B	6	O	6単位のうち、一部または全部をQ(講義科目(3)、地域研究)とR(地域研究)の科目で代替できる。ただし代替単位のうち地域研究科目は4単位までとする。Oの超過分はFに加算される。
	基礎科目	講義科目(1)、基礎演習B	22	P	Pの超過分はFに加算される。
	基幹科目	講義科目(2)			
	発展科目	講義科目(3)、地域研究	14	Q	Qの超過分はFに加算される。
	地域研究科目	地域研究	4	R	Rの超過分はQに加算される。
		合計	134		

- (注1) 外国人留学生ならびに学科が特に認めた学生は、外国語科目の履修に際して前述の「明治学院共通科目履修の方法」の[外国語科目]3.にある指示に従うこと。
- (注2) 英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には、必ず教務課窓口に相談すること。
- (注3) 入学時に中級以上の技能を有する学生については、「コンピュータリテラシー研究 1A・1B、2A・2B」から1科目2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる。
- (注4) 教職・その他資格関連科目のうち、教育実習は「フリーゾーン(学科科目)」の単位とすることができる。
- (注5) 早期留学(4月入学者は第4学期から、9月入学者は第3学期から留学)の学生については、演習1に代えて、特別演習1を4月入学者は第3学期、9月入学者は第2学期に履修すること。詳細は教務課で相談すること。
- (注6) 留学に伴う認定単位は学科講義科目および校外実習等の科目区分に分類される。科目の表記は「留学認定単位(カッコ内は科目区分名称)」となる。

〔表-1〕卒業までに必要な単位数 — 科目の内訳の詳細 —

部門	区分		必/選	単位		備考
明治学院共通科目	明治学院共通科目Ⅰ (必修科目)	キリスト教科目	必修	A	4	Introduction to Christianity 1&2(キリスト教の基礎 A&B)各 2 単位 計 4 単位必修
		外国語科目／集中日本語(*1)	選択必修	B	8	外国語科目は、仏・中・独・西・韓の各言語から選択し、同一言語について8単位修得しなければならない。(*2)
学科科目	学術英語科目	学術英語科目Ⅰ	必修	C	20	必修
		学術英語科目Ⅱ(*3)	選択	D	28	英語基礎力の水準に応じて、修得すべき学術英語科目が指定される。この科目については、学科科目で代替しうる。 28 単位超修得の場合、超過分は L へ算入される。
	初級科目	演習科目	必修	E	4	Introductory Seminar 4 単位必修
		講義科目	選択	F	16	16 単位超修得の場合、超過分は D へ算入される。
	上級科目	講義科目	必修	G	2	Life and Career Development (*4) 2 単位必修
			選択	H	24	24 単位超修得の場合、超過分は D へ算入される。
		演習・実習科目	必修	I	2	Graduation Seminar 2 単位必修
			選択必修	J	4	Graduation Project A または Graduation Project B いずれか 4 単位選択必修
				K	4	Field Study A、Field Study B、Field Study Seminar、Internship A、Internship B、Internship C、Independent Study A、Independent Study B、Independent Study C、Research Project、Project Seminar のいずれか 4 単位選択必修(ただし、留学中に修得した単位をもって代替することもできる)。4 単位超修得の場合、超過分は D へ算入される。
フリー	明治学院共通科目Ⅱ(選択科目)、国際キャリア学科科目、国際学科科目、国際経営学科科目、共愛学園前橋国際大学単位互換		選択	L	14	
合計				130		

(*)1) 外国語科目と集中日本語のいずれを選択するかは、学術英語担当教員との面談の上、担当者が決定する。

(*)2) 外国語科目の場合、外国語 1A、1B、2A、2B の 4 単位は必修で、外国語研究 1A、1B、2A、2B の計 8 単位の中から 4 単位を選択必修とする。集中日本語の場合、集中日本語 1A～5B から 8 単位を選択必修、もしくは集中日本語 1A～5B から 4 単位と日本語研究 1A、1B、2A、2B、3A、3B から 4 単位の計 8 単位を選択必修とする。

(*)3) 学術英語科目Ⅱのうち、どの科目を履修するかは、学術英語科目担当教員との面談の上で、担当者が決定する。

(*)4) Life and Career Development の単位は、留学中に修得した科目の単位をもって代替することができる。ただし、学科主任の判断による。

6 心理学部

6-1 心理学科 (学位: 学士(心理学))

部 門				卒業までに必要な単位数		
明治学院 共通科目 (注1)	キリスト教の基礎			ア	4 単位	計 24 単位
	英語			イ	4 単位	
	初習語				4 単位	
	情報処理系科目			ウ	2 単位	
	自由選択			エ	10 単位	
学科科目	基礎科目	①講義科目	必修科目※	オ	10 単位 (注 2)	計 70 単位
			選択必修科目 b	カ	6 単位 (注 2)	
			要求科目 #	キ	(注 3)	
			選択科目	ク	(注 4)	
	専門科目	②実験・実習科目	必修科目※	ケ	4 単位 (注 2)	
		③演習科目	必修科目※	コ	2 単位 (注 2)	
		①講義科目	選択科目	サ	47 単位 (注 5)	
		②-1 実験・実習科目				
		③演習科目				
		④卒業論文				
②-2 実験・実習科目	選択必修科目 \$	シ	1 単位 (注 2)			
フリーゾーン (明治学院共通科目・学科科目・教育発達学科科目から選択)				ス	30 単位 (注 6)	計 30 単位
合 計 124 単位						

(注1) 明治学院共通科目の履修方法を参照すること。なお、英語および初習語(イ)で9単位以上修得した場合、情報処理系科目(ウ)で3単位以上修得した場合は、自由選択(エ)の単位として扱われる。自由選択(エ)の11単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。外国人留学生は、日本語4単位が必修であり、さらに日本語以外の言語(同一言語)から4単位を必修とする。

(注2) 指定された、必修科目※(オ・ケ・コ)を16単位、選択必修科目 b(カ)から6単位以上、選択必修科目 \$ (シ)から1単位以上を修得すること。選択必修科目 b(カ)7単位以上、選択必修科目 \$ (シ)2単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。

(注3) 要求科目 # (キ)は、卒業に必須ではないが、2年次に履修が義務づけられるものである。要求科目 # (キ)の単位は、専門選択科目(サ)の単位として扱われる。

(注4) 選択科目(ク)は、卒業に必須の単位ではない。公認心理師資格の取得を視野に入れている学生は「公認心理師受験資格」を参照すること。選択科目(ク)の単位は、専門選択科目(サ)の単位として扱われる。

(注5) 専門選択科目(サ)は要求科目 # (キ)・選択科目(ク)の単位と合わせて、①講義科目②-1実験・実習科目③演習科目④卒業論文から47単位修得すること。48単位以上の専門選択科目(サ)は単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。

(注6) フリーゾーン(ス)の30単位は、明治学院共通科目、心理学科科目、および他学科科目のうちの教育発達

学科科目から修得すること。

(注7)特に指示がある科目を除き、同一科目が複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。

6-2 教育発達学科（学位：学士（教育発達学））

部 門		卒業に必要な単位(注1)(注2)		
		児童発達 コース	特別支援 コース	国際教育 コース
明治学院 共通科目	キリスト教の基礎	4	4	4
	英語	4	4	4
	初習語	4	4	4
	情報処理系科目	2	2	2
学科科目	学科基幹科目	10	10	10
	基礎科目	20	20	20
	教職基礎科目	6	6	6
	探究科目	18	18	20~24
	教職専門科目	0	0	0
	応用科目	0	4	0~4
選択科目(注3)(注4)		56	52	50
計		124	124	124

(注1)2年次より「児童発達コース」「特別支援コース」「国際教育コース」に分かれる。

(注2)各コースで取得可能な教員免許状は異なる。教員免許状を取得する場合、免許の種類ごとに必要な科目を履修する必要がある。詳細は、P.103~P.120を参照すること。

(注3)選択科目は、選択された明治学院共通科目(10単位を上限)・学科科目・他学科科目・短期留学認定科目から、各コースの必修科目と選択必修科目の単位に加えて修得すること。

(注4)学科科目・他学科科目・短期留学認定科目それぞれについて各コースの必要単位を超過して修得した場合は、選択科目の単位数として算入される。

(注5)明治学院共通科目のうち、初習語4単位、情報処理系科目2単位を超過して修得した場合は、10単位を上限として選択科目に算入される。

(注6)各コースの選択必修の履修の仕方によって、単位数が変わる場合がある。

(注7)学科科目のうち、各コースの必修科目、選択必修科目でない科目であっても教育職員免許状取得には必修となる科目があるので留意すること。